

平成26年度耕作放棄地再生・活用シンポジウム

- 1 目的 耕作放棄地対策の関係者が、多様な取組主体による耕作放棄地の利用方法を研究することにより、本県における耕作放棄地の再生・活用を促進する。
- 2 日時 平成27年3月6日（金）13:30～16:50（受付開始：13:00）
- 3 会場 グランシップ会議ホール「風」
- 4 参加者 300人（農業者、農業法人、市町、農業委員会、JA、県内企業等）
- 5 主催 静岡県、静岡県農業会議、静岡県農業再生協議会
静岡県担い手育成総合支援協議会
- 6 共催（予定） 静岡県市長会、静岡県町村会、静岡県農業協同組合中央会
（公社）静岡県農業振興公社、静岡県農業経営士協会、静岡県青年農業士会
静岡県認定農業者協会、静岡県土地改良事業団体連合会

7 内 容

時間	内容
13:30	開会
13:30～13:40	挨拶：知事
13:40～14:00	表彰式（静岡県耕作放棄地再生活動表彰事業）
14:00～14:15	情勢報告：県農林業局・・・耕作放棄地対策・中間管理事業の概要
14:15～16:05 (14:15～14:20)	事例発表 【コーディネーター】全国農業会議所事務局長 柚木茂夫 氏 自己紹介及び問題提起
(14:20～14:40)	事例発表①「耕作放棄地再生活動表彰事業最優秀賞 事例発表」 【講師】浜松市 有限会社コスモグリーン庭好 取締役部長 伊藤拓馬 氏
(14:40～15:20)	事例発表②「県外の耕作放棄地活用事例（営農型）」 【講師】長野県松本市 株式会社かまくら屋 代表取締役 田中浩二 氏 ※第6回耕作放棄地発生防止・解消活動表彰事業 農林水産大臣賞 ※農業未経験者が製麺業者とともにそば58ha（耕作放棄25ha）栽培 ※松本・安曇野の「人・農地プラン」にて中心的経営体に位置付け
(15:30～16:10)	事例発表③「県外の耕作放棄地活用事例（活性化型）」 【講師】山梨県北杜市 NPO法人えがおつなげて 代表理事 曾根原久司 氏 ※第43回日本農業賞「食の架け橋の部」大賞 ※農村と耕作放棄された農地をフィールドに、農業・企業ファーム、食育活動、農業ビジネス人材育成（えがおの学校）などを実践 ※ボランティアや企業の協力を得て耕作放棄地を再生し、幅広に活用
16:10～16:50	パネルディスカッション・質疑応答（発表者・コーディネーター）
16:50	閉会

※参加費は無料です。ただし、事前に参加申し込みをしてください。

【問い合わせ先】静岡県経済産業部農業振興課 耕作放棄地再生班 TEL：054-221-3298

【交通のご案内】

- 電車・・・JR東静岡駅南口から徒歩5分
- 車・・・東名高速静岡 I.C から 20分。静清バイパス千代田上土 I.C から 10分。

◎車の御利用をお考えの皆様へ◎

駐車場(グランシップ有料駐車場及び近隣民間駐車場)が混雑し、駐車が困難になることも予想されますので、できる限り公共交通機関を御利用くださいますようお願いいたします。

なお、有料駐車場を御利用の場合、駐車料金は、シンポジウム参加者様にて負担をお願いいたします。

平成26年11月～来春までグランシップ周辺道路は一部通行止めとなります。
車でご来場の際は下記の経路にてお越しくださいようお願いいたします。

